

「ふるさとの学び特別賞」

| | | | |
|-----|-------------------|-----|--------|
| 学校名 | 勝山市立平泉寺小学校 | 校長名 | 道関 実代子 |
| 住 所 | 福井県勝山市平泉寺町 164-12 | | |

| |
|---|
| 1. 推薦理由 |
| <p>本校の校区には、希少植物が生息する池ヶ原湿原、1300年の歴史を持つ白山平泉寺など環境的・歴史的・文化的に貴重な場所が多くある。児童は、『杉の子ふるさと発信隊』として地域の「宝」の魅力や価値についてSDGsの目標に関連させ、専門機関や行政・地域の住民と連携し探求を重ね発信活動を行っている。ふるさとと愛に満ち、人とのつながりを大切にしながらふるさとを活性化できる持続可能な社会の担い手の育成を目指した活動を展開している。</p> |
| 2. 活動内容 テーマ「地域資源を生かした学校づくり」 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・対象学年：全校児童38名 ・令和元年日本遺産に認定された白山平泉寺だが、地域住民や児童の中で白山平泉寺の歴史や文化を正しく知る人は多くない。そこで、自分たちが主体的に学び、もっと多くの方にそれらを知ってもらい平泉寺をより活性化させるために、児童は白山平泉寺の語り部活動を展開している。この活動を一層充実させるため、専門の外部講師や学芸員から指導を受け、児童は白山平泉寺の歴史や文化について見識を深めている。また、平泉寺まちづくり会館（公民館）の講座での講師を依頼され、子どもたちが講師役となり地域の住民や、市長・教育長・議員・教育委員に白山平泉寺の語り部活動を行うなど、活動の幅を広げてきた。 ・校区の池ヶ原湿原には希少植物や生物が生息しているが、その生長を妨げるヨシが多く存在する。5年前までは、地域の方の協力のもと葦簣を編んでいたが、高齢にともない編める人が少なくなった。そこで、ヨシを刈り取って池ヶ原湿原の環境保全を進めるとともに、刈り取ったヨシをヨシストローに加工して再利用しプラスチック問題を発信している。今年度は、市内4つの飲食店にヨシストローを置いていただきチラシとともに環境保全を啓発した。 ・昭和34年から続いているふきとりは、児童数の減少と、生育場所の変化により毎年、地域の協力無しでは活動が難しくなっている。地域住民に呼びかけてフキが生育する場所の提供やフキとりの協力、仕分け作業・販売のノウハウを子どもたちに伝授していただくなど、様々な支援をいただいている。 |
| 3. 年間活動実績（令和4年度） |
| <ul style="list-style-type: none"> ・5/16 フキとり（全校児童・保護者・地域）、5/17 フキ販売（6年児童・地域の方） ・9/12 ヨシストローの製作方法を地域住民へ教える（3・4年）、11/4 ヨシ刈り（全校） ・6/1 白山平泉寺菩提林の歴史散策と自然観察（3～6年） ・10/11 白山平泉寺の語り部活動リハーサ（5・6年） ・10/19 成器西小学校3年生へ白山平泉寺の語り部活動（5・6年） ・11/3 ノルディックウオーク in 白山平泉寺にて白山平泉寺の語り部活動（5・6年） ・11/11 一乗小学校5・6年生へ白山平泉寺の語り部活動（5・6年） ・11/18 学習発表会にて、ふるさと学習や環境保全活動を地域へ発信（全校） ・11/26 恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク ESD ダイアログ 2022にて活動報告（5・6年） ・3学期 ヨシストロー製作予定（3～6年） |
| 4. 提出書類リスト |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 活動の記録（写真） 2. 新聞記事等 3. 初等教育4月号（地域の資源を生かした学習活動の展開） 4. 未来の語り部記録集（令和2年度・令和3年度・本年度は年度末に完成予定） |